

1 から 100 までの 総和計算

那或晁真（なかあささね）が考える

1 から 1 0 0 までの総和計算

2022/08/26 作成

那或晁真（なかあささね）

Asasane Naka

50.5 × 100=5050・・・[1]から[100]まで足した数である総和

[100]の半分の[50]と[1]の半分の[0.5]を足して[50.5]で

[1]から足していく[100]で掛けると[5050]

この手法は、どの数にも当てはまる。

例えば、

[1]から[35]まで足した数である総和を求める場合、

[35]の半分の[17.5]と[1]の半分の[0.5]を足して[18]に、

[1]から足していく[35]で掛けると、

[1]から[35]まで足した数である総和の[630]が計算できる。

式としては、

$$\sum_{k=1}^n k = (n / 2 + 0.5) \times n$$

Σ 記号の定義

Σ 記号の定義です。数学に用いられます。

$$\sum_{k=1}^n a_k = a_1 + a_2 + a_3 \dots a_n$$

[n=100]とすると[k]には、[1+2+3+ ... +100]が入り

[1]から[100]までの総和が求められる。

[n=100]の場合、[n]の半分である、[50]と

[1]の半分である[0.5]が足された[50.5]に、

[n=100]を掛けて総和である[5050]を計算する。

[n=35]だった場合、[(17.5 + 0.5) × 35 = 630]という

[1]から[35]までの総和の計算ができる。

Σ 記号の読み方

Σ (シグマ) 記号と読みます。[Σ]はギリシャ文字の1つで、現在使用されているアルファベットの[S]に当たる文字です。

大文字のΣ 記号は[Σ]で表記され、小文字は[σ]で表記されます。

数学の分野でどちらもよく表記される記号です。

Σ 記号の意味

Σ 記号の大文字は合計、総和(Summetion)の意味で、小文字のσ 記号は標準偏差(Standard deviation)の意味です。

Σ 記号とは[総和記号]といって、

[1+2+3+4+5+6+・・・+100]のように繰り返し足し算する時に表記される記号です。